

読書のまち三郷だより

No.23
平成24年
1月号
三郷市教育委員会



あけましておめでとうございます！

新しい年が始まりました。昨年度、東日本大震災の被災地では深い悲しみや苦しみの中で、絵本や本は子どもたちを癒しました。豊かな想像を生み出す絵、心に響く言葉、それらは子どもたちに生きるエネルギーを与えたそうです。今年も、「生きる力」になる読書を大きく推進していきましょう。

読書フェスティバルは1月20日！



学校・家庭・地域が一体となり、市民みんなで読書活動を推進していきましょう。

		実践活動発表	休憩	家読ソング合唱 家読発表	講演	閉会
受	開会	推進協力校・公立図書館の実践発表 (八木郷小・前川中・公立図書館) 新和小・彦成中の児童生徒の活動発表 鷹野小ボランティアによる発表	休 憩	・高州東小児童による家読テーマソング合唱 ・戸ヶ崎小による家読発表	子ども司書推進全国協議会理事長・元矢祭町教育長 高信由美子氏 「地域社会で子どもたちと生きるために」	閉会 行事
付	行事					

13:10 13:30 14:00 14:55 15:10 15:30 16:25 16:30

会場は鷹野文化センターです。三郷市内各小中学校の読書活動紹介のパネル展示も行います。また、小中学校の子どもたちの作品や学校図書館の掲示物、市内の高校の学校図書館の掲示物なども展示致します。併せてご覧下さい。当日受付もあります。ぜひ、お越し下さい。

* 読書支援グループ研修会開催 *



12/15 北部図書館で各学校や地域で活動している読書ボランティアのみなさんが集まり、読み聞かせ研修会が実施されました。

講師は「絵本の会」のみなさんです。お話会の実践のあと、絵本の読み方・選書のポイント・学校との関わり方などについて具体的な話があり、有意義な研修会になりました。

* ららほっとでお話会 *



12/17のお話会は早稲田小学校ボランティアの「きびだんご」さんでした。“きびだんご”の歌の楽しい手遊びから始まりました。

通路は騒がしくても「ららほっと」の空間は、本に引きつけられる子どもたちとお母さん方の豊かな空間がいつも作り出されています。次回は1月22日(土)

読書標語コンクール〈最優秀賞〉

応募総数 8,125編
たくさんの応募ありがとうございました。

- | | | | |
|---------|--------|------|------------------|
| <小学校の部> | 戸ヶ崎小学校 | 村中 藍 | 広げよう 読書の町と 読書の心 |
| <中学校の部> | 彦糸中学校 | 岩本愛美 | 読んだ本 広がる会話 家族の輪 |
| <高校の部> | 三郷高等学校 | 和田仁美 | 教わった 小さな本から いきる道 |
| <一般の部> | | 金子 貢 | 本を読む 親の横顔 良き手本 |

郵便コンクール

〈最優秀賞〉

応募総数 6,499編

今回初めて高校の部と一般の部を募集しました。最優秀作品以外にも力作揃いでした。

小学校低学年の部

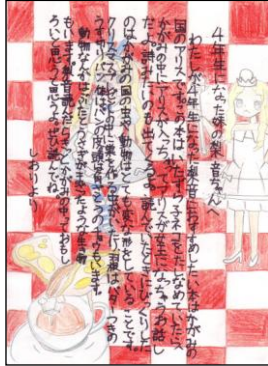
友だちのねいるさんへ



前谷小・2年丸山くるみ

小学校中学年の部

妹の梨音ちゃんへ



高州東小・4年森田しおり

小学校高学年の部

友だちの渡辺さんへ



彦郷小・5年 栢原佑紀

中学校の部

妹の悠希へ



北中・2年 豊田真希

高等学校の部

本を愛するあなたへ



三郷北高等学校・3年 河田莉歩

一般の部

小学生の息子さんへ



鷹野在住・小幡由紀子

*** ふれあいパーク *** つどいの広場・いちごサロン

つどいの広場は乳幼児を子育て中の親と子が交流する場です。そこでも、読み聞かせが行われ、時には特別プログラムのお話会が行われています。



<まき絵でお話楽しいな！>

ここがポイント！魅力です！ — 学校図書館の様子 —

鷹野小学校



- ・鷹野小おすすめの本は保護者アンケートで意見を取り入れて決定しました。読破するともらえる校長賞は児童の半数がもらっています。
- ・貸出冊数は一人50冊とめあてを決めて取り組んでいます。
- ・調べ学習でも活発に図書館を活用し、落ち着いて学習に取り組んでいます。

(月村司書教諭・望月司書：談)

南中学校



- ・図書館は教室からは遠いですが、来館者は増え続けています。新しい本を提供し続けているのが生徒にとって一番の魅力になっています。
- ・蔵書はやさしいものから質の高いものまで豊富に揃ってきました。生徒や先生からのリクエスト本も購入しています。
- ・総合学習や国語科など、授業での活用も増加しています。

(枝司書教諭・南司書：談)